



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 協栄産業株式会社
 コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 水谷 廣司
 (氏名) 板垣 政昭
 配当支払開始予定日

TEL 03-3481-2111
 平成25年12月2日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,574	△2.7	49	△86.1	45	△84.2	△120	—
25年3月期第2四半期	29,358	△4.8	359	263.9	287	—	130	305.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 289百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△3.94	—
25年3月期第2四半期	4.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,014	13,371	38.2
25年3月期	35,519	13,112	36.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,371百万円 25年3月期 13,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	1.00	3.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.0	620	△20.9	560	0.2	300	79.6	9.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	31,935,458 株	25年3月期	31,935,458 株
26年3月期2Q	1,426,209 株	25年3月期	1,423,350 株
26年3月期2Q	30,510,469 株	25年3月期2Q	30,513,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に円高の是正、株価の回復が見られ、企業活動においても回復に向けた動きが出始めております。しかしながら、世界経済を牽引していた新興国の減速懸念などもあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図りました。

しかしながら、当社の主要顧客のなかにも回復に向けた動きは見られるものの、全体的には受注が低迷し、非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は285億7千4百万円、前年同期に比べて2.7%の減収、営業利益は4千9百万円、前年同期に比べて86.1%の減益、経常利益は4千5百万円、前年同期に比べて84.2%の減益、四半期純損失は1億2千万円（前年同期四半期純利益1億3千万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 225億1千4百万円（前年同期比0.6%減）
- ・営業利益 2億8千5百万円（前年同期比32.0%減）

商事部門においては、前年同期と比較すると、売上面では海外子会社が堅調に推移し、国内の落込みをカバーいたしました。利益面では厳しい状況で推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、自動車関連は海外向けを中心に堅調に推移し、白物家電関連もエアコン、冷蔵庫向けを中心に堅調に推移いたしました。しかしながら産業機関連向けは回復の遅れ等により低迷いたしました。

電子デバイス分野では、セキュリティ関連向けのモニタが好調となりましたが、前期好調であった希土類磁石が減速し、その他の電子部品も全般に回復が遅れ、低調となりました。

②電子材料事業

電子材料事業は、コネクタ関連は自動車関連やソーラーパネル向けは堅調に推移いたしました。スマートフォン向けで一部生産調整があり、また、パソコン、デジタルカメラ向けなどは低調に推移いたしました。半導体リードフレーム関連も国内、海外ともに低調となりました。

③FA・環境システム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザ加工機は、第1四半期からの受注が売上に結び付き好調となりました。

FA機器分野ではエレクトロニクス関連の装置メーカーからの受注が依然として厳しく低調となりました。

環境ビジネス分野では、太陽光発電、省エネ関連等の商談、引き合いはありますが、受注に至らず厳しい状況で推移いたしました。

④その他

北海道と西日本地区を拠点とする協栄マリンテクノロジー株式会社が行う救命いかだの整備サービス事業は堅調に推移いたしました。

(IT部門)

- ・売上高 24億4千8百万円（前年同期比11.2%減）
- ・営業利益 2億4千万円（前年同期比11.4%減）

IT部門においては、受注は増加傾向にあります。損益面では前年同期を下回り、苦戦いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設関連システムは、パッケージ販売が好調となりましたが、前期までの大型システム開発が終了したことと、それに続く受注に苦戦したことにより、全般には低調となりました。

エンドユーザー向けシステム開発は、主要ユーザーの開発案件の受注により好調に推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは、タクシー向けシステムが伸長し、その他のサービスも堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、主力の電力関連向け開発の受注は堅調となりましたが、開発の立ち上がり遅れの影響で売上は低調となりました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、専用装置システム開発、専用ボードシステムの受注が伸長し、また、カーナビ開発は堅調に推移いたしました。携帯電話関連の開発は縮小いたしました。

監視制御システム系は、装置制御関連の主要ユーザーからの受注は堅調に推移いたしました。公共業務関連の受託開発は苦戦いたしました。

③IC設計事業

IC設計事業は、受注環境が厳しく低調に推移いたしました。

(製造部門)

・売上高 36億2千8百万円 (前年同期比8.5%減)

・営業利益 2億1千4百万円 (前年同期比1.3%減)

製造部門は、全体としては堅調に推移いたしました。

プリント配線板事業

相模原工場では、モジュール基板が精密機器向け及びOA機器向けを中心に拡大基調で推移いたしました。車載向けメタルコア基板がやや低調であったため、全体としては堅調となりました。

福島協栄株式会社では、車載向け基板がやや低調に推移いたしました。アミューズメント向け基板が第2四半期に好調となったため、全般に堅調となりました。

また、海外で行っているフレキシブル基板ビジネスも堅調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5億4百万円減少し、350億1千4百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金11億3千2百万円の減少、繰延税金資産6千5百万円の減少等により、11億1千9百万円減少し、285億8千8百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券4億8千4百万円の増加、有形固定資産1億3千4百万円の増加等により、6億1千4百万円増加し、64億2千6百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金13億4千1百万円の減少、短期借入金4億5千4百万円の減少等により、20億6千4百万円減少し、149億3千4百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金10億9千万円の増加等により、13億1百万円増加し、67億9百万円となりました。

この結果、純資産は、2億5千8百万円増加し、133億7千1百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の36.9%から1.3ポイント増加し、38.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ11億3千2百万円減少し、54億8千9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は17億2百万円となりました。これは主として次の要因によるものです。

資金増加要因：	減価償却費	2億8百万円
	たな卸資産の減少	1億2千9百万円
資金減少要因：	仕入債務の減少	14億7千万円
	未払消費税等の減少	1億1千3百万円
	法人税等の支払額	9千4百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1億8百万円となりました。これは主として固定資産の取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は6億4千4百万円となりました。これは主として、長期借入れによる収入等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日公表の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成25年10月29日)公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,761,970	6,629,896
受取手形及び売掛金	14,982,748	15,007,812
電子記録債権	116,077	141,134
商品及び製品	5,559,425	5,500,027
仕掛品	610,688	637,685
原材料及び貯蔵品	136,899	129,709
繰延税金資産	371,108	305,370
その他	176,618	245,733
貸倒引当金	△7,959	△8,888
流動資産合計	29,707,577	28,588,480
固定資産		
有形固定資産	2,608,413	2,742,584
無形固定資産	282,951	278,489
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192,485	2,676,931
繰延税金資産	22,803	26,541
その他	789,458	786,965
貸倒引当金	△84,210	△85,212
投資その他の資産合計	2,920,537	3,405,225
固定資産合計	5,811,901	6,426,299
資産合計	35,519,479	35,014,780
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,839,026	9,497,549
短期借入金	3,123,589	2,668,603
1年内返済予定の長期借入金	1,220,000	1,420,000
未払法人税等	118,117	72,259
賞与引当金	265,884	269,620
工事損失引当金	1,709	12,335
その他	1,430,437	993,826
流動負債合計	16,998,765	14,934,194
固定負債		
長期借入金	3,970,000	5,060,000
繰延税金負債	144,383	318,628
退職給付引当金	537,537	477,560
役員退職慰労引当金	216,625	210,625
その他	539,344	642,724
固定負債合計	5,407,889	6,709,539
負債合計	22,406,654	21,643,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,953,972	6,803,204
自己株式	△416,584	△417,113
株主資本合計	12,819,442	12,668,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	484,508	793,367
為替換算調整勘定	△191,126	△90,465
その他の包括利益累計額合計	293,382	702,901
純資産合計	13,112,824	13,371,047
負債純資産合計	35,519,479	35,014,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,358,180	28,574,896
売上原価	25,959,187	25,277,992
売上総利益	3,398,992	3,296,903
販売費及び一般管理費	3,039,426	3,247,027
営業利益	359,566	49,875
営業外収益		
受取利息	749	671
受取配当金	22,099	25,369
為替差益	—	22,775
その他	41,642	50,208
営業外収益合計	64,491	99,024
営業外費用		
支払利息	78,912	71,660
為替差損	17,572	—
債権売却損	17,858	10,418
その他	22,584	21,493
営業外費用合計	136,928	103,572
経常利益	287,128	45,327
特別利益		
固定資産売却益	18,037	2,168
投資有価証券清算益	—	6,978
特別利益合計	18,037	9,147
特別損失		
固定資産除却損	5,600	30,820
投資有価証券評価損	32,871	—
特別損失合計	38,472	30,820
税金等調整前四半期純利益	266,694	23,654
法人税、住民税及び事業税	44,822	78,542
法人税等調整額	91,511	65,367
法人税等合計	136,334	143,910
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	130,359	△120,255
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,359	△120,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	130,359	△120,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,381	308,859
為替換算調整勘定	△48,181	100,660
その他の包括利益合計	△214,563	409,519
四半期包括利益	△84,203	289,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,203	289,263

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	266,694	23,654
減価償却費	189,371	208,971
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,126	1,930
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,791	3,305
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△46,388	△59,976
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,125	△6,000
受取利息及び受取配当金	△22,848	△26,040
支払利息	78,912	71,660
投資有価証券清算損益 (△は益)	—	△6,978
投資有価証券評価損益 (△は益)	32,871	—
固定資産除却損	5,600	30,820
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18,037	△2,168
売上債権の増減額 (△は増加)	2,152,860	80,195
たな卸資産の増減額 (△は増加)	367,751	129,694
仕入債務の増減額 (△は減少)	△993,600	△1,470,573
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,090	△14,738
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△84,737	△113,829
その他	△80,407	△411,602
小計	1,858,922	△1,561,674
利息及び配当金の受取額	22,847	26,042
利息の支払額	△78,313	△72,170
法人税等の支払額	△56,524	△94,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,746,932	△1,702,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の清算による収入	—	7,330
投資有価証券の取得による支出	△246,504	△4,915
有形固定資産の売却による収入	112,000	2,168
有形固定資産の取得による支出	△33,319	△74,189
無形固定資産の取得による支出	△16,857	△38,956
貸付金の回収による収入	1,728	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,952	△108,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,105,928	10,963,560
短期借入金の返済による支出	△5,172,055	△11,457,300
長期借入れによる収入	3,350,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,710,000	△710,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△75,622	△120,548
自己株式の売却による収入	233	—
自己株式の取得による支出	△286	△529
配当金の支払額	△61,028	△30,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	437,168	644,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,379	34,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,999,769	△1,132,073
現金及び現金同等物の期首残高	5,025,086	6,621,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,024,855	5,489,896

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	22,641,489	2,751,663	3,965,027	29,358,180
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,915	7,383	255	12,554
計	22,646,404	2,759,046	3,965,283	29,370,734
セグメント利益	419,459	271,867	216,939	908,266

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	908,266
全社費用(注)	△548,700
四半期連結損益計算書の営業利益	359,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	22,511,086	2,437,947	3,625,862	28,574,896
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	3,202	10,747	2,371	16,322
計	22,514,289	2,448,694	3,628,234	28,591,218
セグメント利益	285,278	240,905	214,033	740,217

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	740,217
全社費用（注）	△690,341
四半期連結損益計算書の営業利益	49,875

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。